

りあす丸調査報告

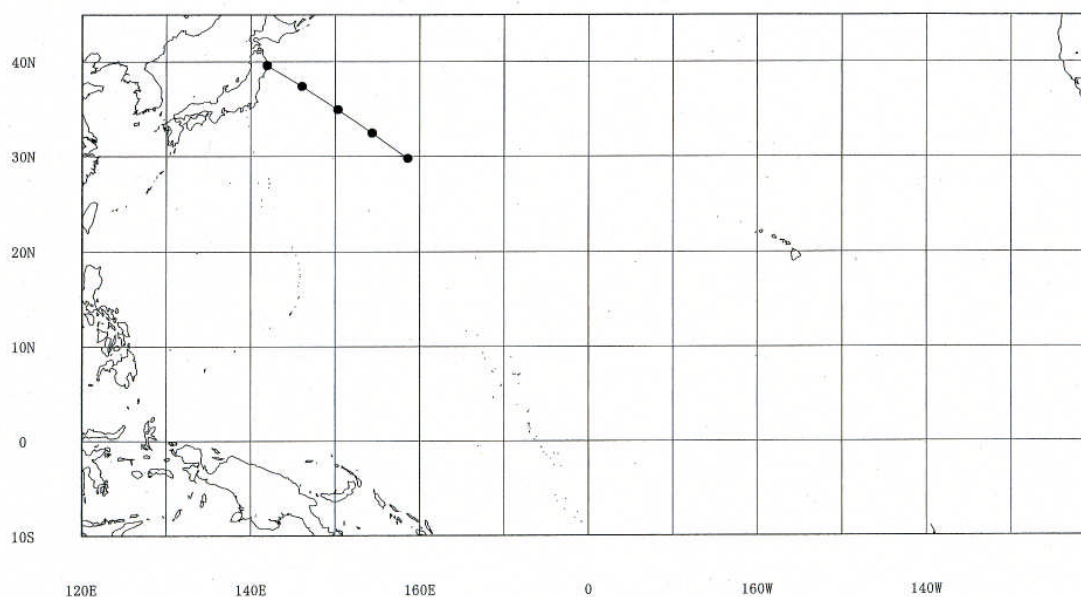
りあす丸（499トン）が1月18日（水曜日）午後2時、宮古港を出港いたしました。今航海は、従来のまぐろ延縄実習に加えて、震災による漂流瓦礫の調査が加わりました。



様式1号

2011年度 2次航海

航跡図



船名 りあす丸 出港 2012年01月18日 宮古港 入港 2012年03月12日 焼津港

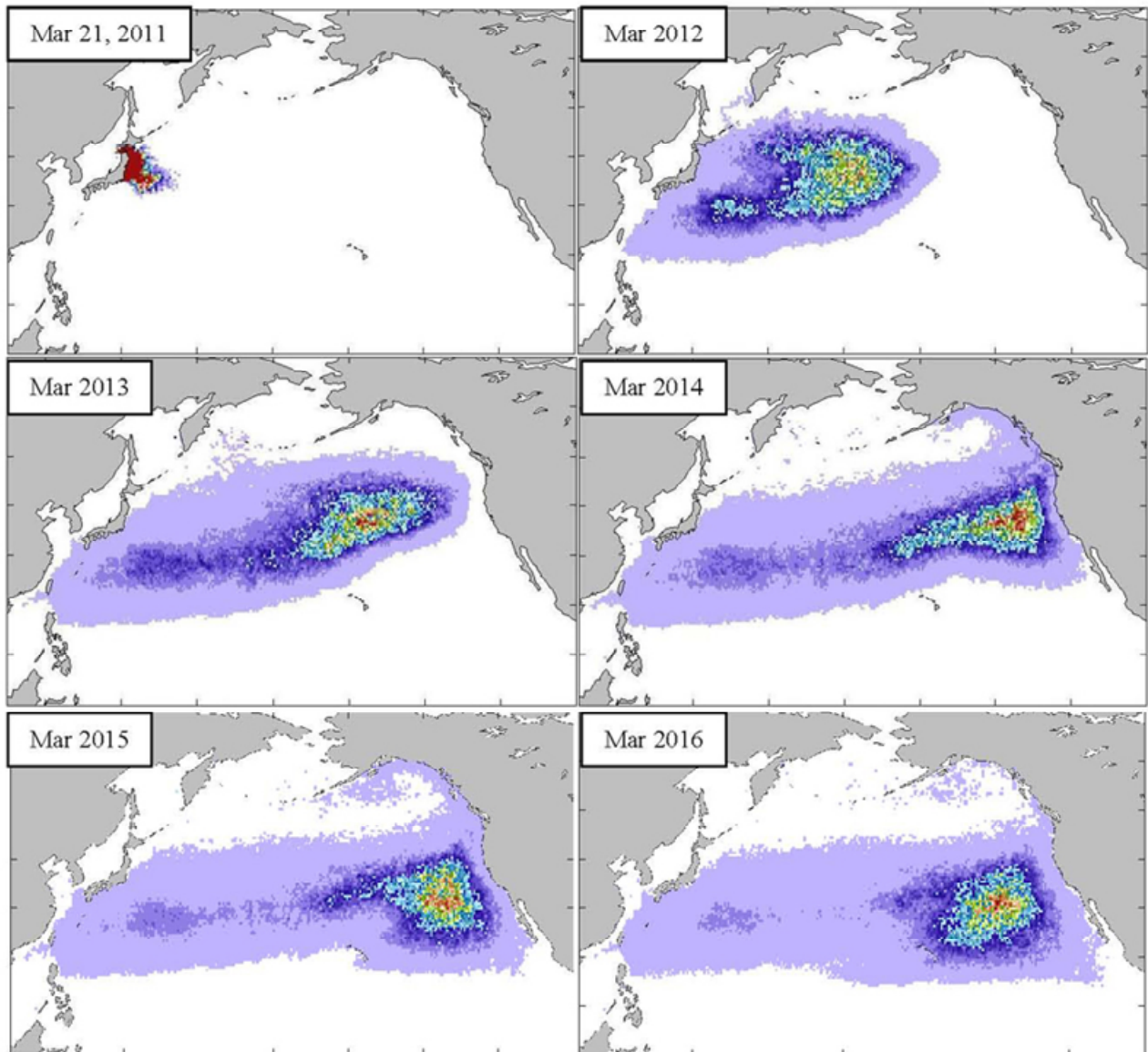
○は換業日、●は非換業日の正午位置を示す。

航跡図は、1月22日現在の正午位置です。

図1、図2は、鹿児島大学水産学部藤枝教授の資料から引用した資料です。

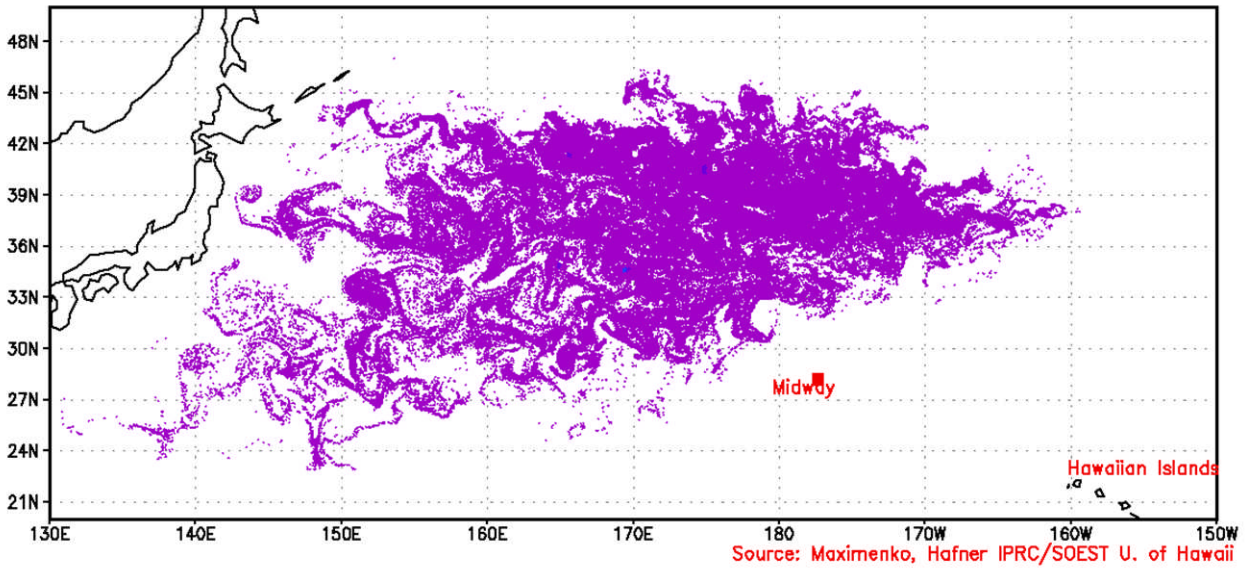
図1は、漂流瓦礫が北太平洋の海流によって移動する状況を1年ごとにシミュレーションしたものです。

図2は、漂流瓦礫が海流によって移動する様子をシミュレーションしたものです。現在、りあす丸は、まぐろ延縄操業の準備と併せて流出瓦礫の目視調査を継続中です。



「図1」

出典は「ハワイ大学国際太平洋研究センター ニコライ・マキシメンコ博士」



「図 2」

出典は「ハワイ大学国際太平洋研究センター ニコライ・マキシメンコ博士」

岩手県共同実習船りあす丸の漂流がれき目視調査〈第1 報〉



6-1 木材

N32-24.1, E154-22.6

世界時 1月21日 1時5分



10-1 大型

N27-37.9, E161-58.2

世界時 1月22日 23時00分

付近には発泡の浮遊物なども見られた